

平成21年度 自己評価書

北海道旭川東高等学校 定時制課程

分 掌 等	項 目	反 省 と 今 後 の 改 善 策
1 教 務 部	(1)授業の充実	・年度当初に基礎学力テストを実施し、授業計画に生かしている。今後も継続したい。
	(2)入学案内の作成	・写真を多用したリーフレットを作成し、学校説明会や学校見学等で入学希望者や保護者、中学校関係者に配布した。
	(3)校内研修	・年4回実施(教育課程、生徒面談、いじめ問題、授業公開)次年度も適切な研修を実施したい。
	(4)避難訓練	・年2回実施し、2回目は消防署の協力のもと消火器の使い方の講習を受けた。今後も内容の工夫改善を図りたい。
2 生徒指導部	(1)生徒会行事	・生徒の行事への出席率が高かった。特に「卒業を祝う会」はほとんど休まなかった。「体育大会」では特定の欠席者がいた。
	(2)いじめ・暴力	・問題になるいじめ等はなかったが、小さいいざこざは男女ともに見られた。後半はだいぶ落ち着いてきた。
	(3)問題行動	・喫煙行為(1件)、器物破損(1件)による指導を行った。今後も担任、教科担任と連携し問題行動を未然に防ぎたい。
3 進路保健部	(1)進路情報の提供	・ハローワークとの連携(会議)により、現在の就職状況の把握に努めたが、進路だよりの形で発信できなかった。 ・職場訪問を通じて生徒の勤務・雇用形態について情報を得た。
	(2)総合学習	・専門学校での実習、美術館訪問等に時間を多く配分した。生徒の関心を引き出し成果を上げた。
	(3)卒業学年への進路指導	・HR担任との連携を密にしながら、個別指導や模擬面接を行った。また、就職促進会を有効に活用して就職内定を得た。 大学1名、専門学校5名、就職4名
	(4)健康診断	・今年度は虫歯治療や視力矯正の実施報告が多かった。 ・健康診断の受診率が上がった。
	(5)健康管理	・給食室の環境美化や指導は、早期計画と全職員指導が功を奏した。マイ箸は定着したが、割り箸を使用する一部生徒がいる。
	(6)保健室の利用	・1月末までの利用は、H19年度905件、20年度1086件、21年度915件と今年度は少し減少した。
4 総合学習	(1)全体計画	・年間計画のテーマを基本にしつつ、新しい企画も盛り込んだ。
	(2)専門学校見学 社会施設見学	・専門学校見学は、経済的な負担もない上に、受け入れ態勢もしっかりしており、生徒にとって有益だった。 ・美術館における講演と特別展鑑賞は、内容も充実し、生徒は関心を持って参加していた。
5 学 年	(1)1学年	・基本的な生活習慣の確立がまだ不十分である。生徒間のトラブルは減少してきた。
	(2)2学年	・基本的な生活習慣は身につけてきた。進路意識の向上を図りたい。
	(3)3学年	・三修制の生徒は進路決定のため努力した。学習・生活面の指導を強化し進路実現に努めたい。
	(4)4学年	・比較的落ち着いた学校生活を送った。進路意識を高め努力することができた。
6 教 頭	(1)学校経営	・外部との連携を強め、生徒の実態に即した教育課程を推進する。 ・生活指導における共通理解を深め、生徒のマナー向上に努める。
	(2)開かれた学校	・定時制だより「かたくり」は今年度9号発行した。 ・道民カレッジについては、「情報処理」で受け入れ体制を整備した。 ・ホームページの更新が滞ってしまった。